

2018年(平成30年)3月期 第3四半期 決算補足説明資料

2018年2月

(証券コード:4553)

まとめ

- ・ 売上高は前年同期比10.5%増。近年の追補品も順調に推移し、計画通りの進捗。
- ・ 売上原価率は53.4%（前年同期比-0.3pt）。追補品の販売増加が要因。
- ・ 営業利益は前年同期比67.2%増。売上高の増加による売上総利益の増加、および研究開発費を主因とする販管費の減少が要因。
- ・ 経常利益は前年同期比61.2%増。デリバティブ評価損益については、前年同期は為替相場の円安傾向に伴うデリバティブ評価益(255百万円)が発生しており、当第3四半期ではデリバティブ評価益(636百万円)が発生している。
- ・ 当第3四半期までの実績、および第4四半期の見通しなどを反映し、通期業績計画を修正した。

2018年3月期第3四半期 決算概要

- 売上高 : 近年の追補品も順調に推移し、増収
- 営業利益 : 主に研究開発費の減少により販管費が減少し、増益

(単位: 百万円, %)

期 項目	18/3 3Q			17/3 3Q		
	金額	対売上高 比率	前年同期 比	金額	対売上高 比率	前年同期 比
売上高	70,412	100.0	+ 10.5	63,701	100.0	+ 4.0
売上原価	37,570	53.4	+ 9.8	34,211	53.7	+ 13.2
販管費	23,631	33.6	- 1.5	23,982	37.6	+ 8.5
営業利益	9,210	13.1	+ 67.2	5,507	8.6	- 38.3
経常利益	10,472	14.9	+ 61.2	6,498	10.2	- 27.2
親会社株主に帰属する 四半期純利益	7,373	10.5	+ 53.5	4,804	7.5	- 23.8

(為替レート: TTM) 1ドル

2017/12	2017/9	2017/3	2016/12	2016/9	2016/3
113.00円	112.73円	112.19円	116.49円	101.12円	112.68円

2018年3月期第3四半期 決算概要(計画進捗率)

- 売上高 : 計画通りの進捗
- 営業利益 : 主に研究開発費の減少により販管費が減少し、通期計画を上回る進捗

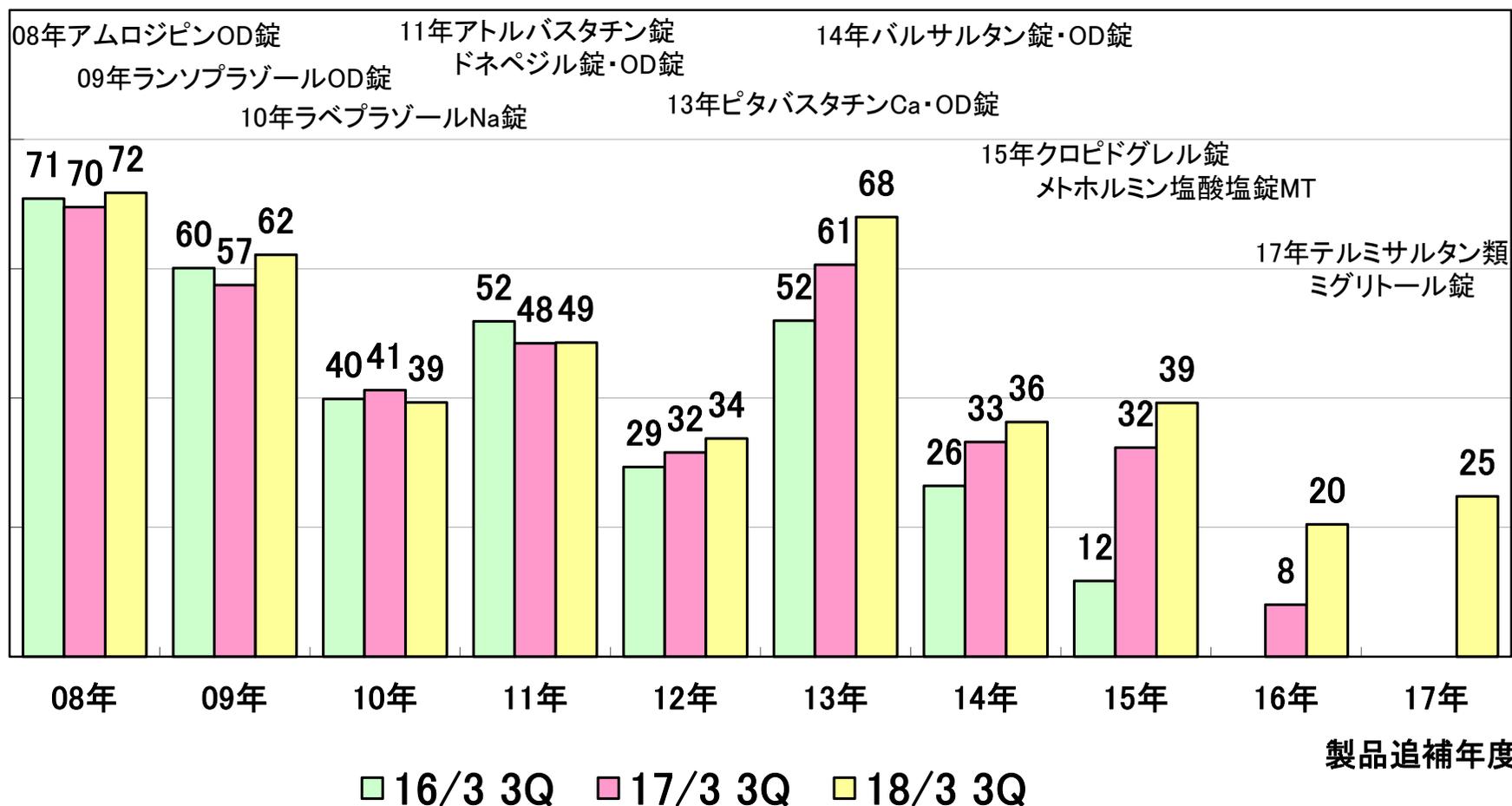
(単位: 百万円, %)

期	18/3				
	3Q実績		通期計画		
項目	金額	対売上高 比率	金額	対売上高 比率	進捗率
売上高	70,412	100.0	94,000	100.0	74.9
売上原価	37,570	53.4	51,300	54.6	73.2
販管費	23,631	33.6	34,100	36.3	69.3
営業利益	9,210	13.1	8,600	9.1	107.1
経常利益	10,472	14.9	8,500	9.0	123.2
親会社株主に帰属する 四半期純利益	7,373	10.5	5,800	6.2	127.1

追補年度別売上高推移

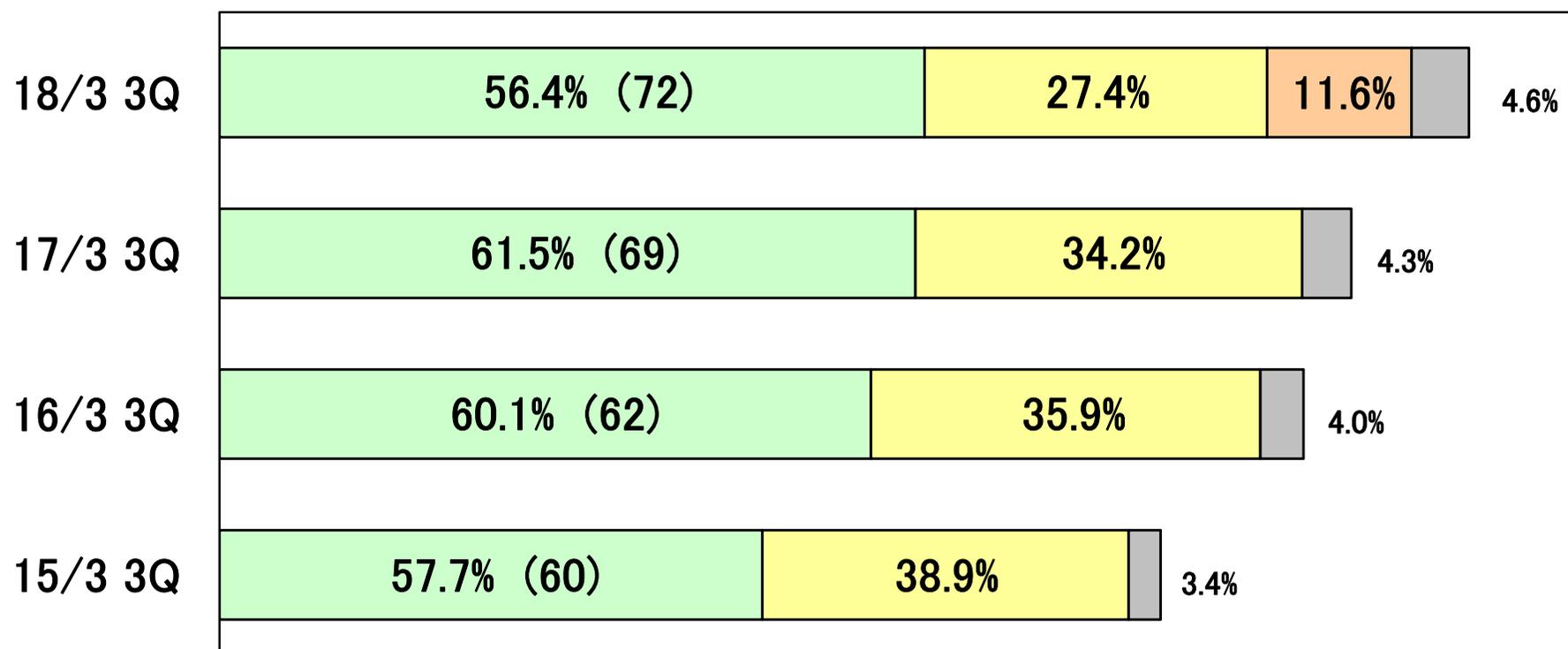
● 13年以降の追補品が順調に伸長、その他の年度についても売上高が増加

億円
100
80
60
40
20
0



販路別売上高推移

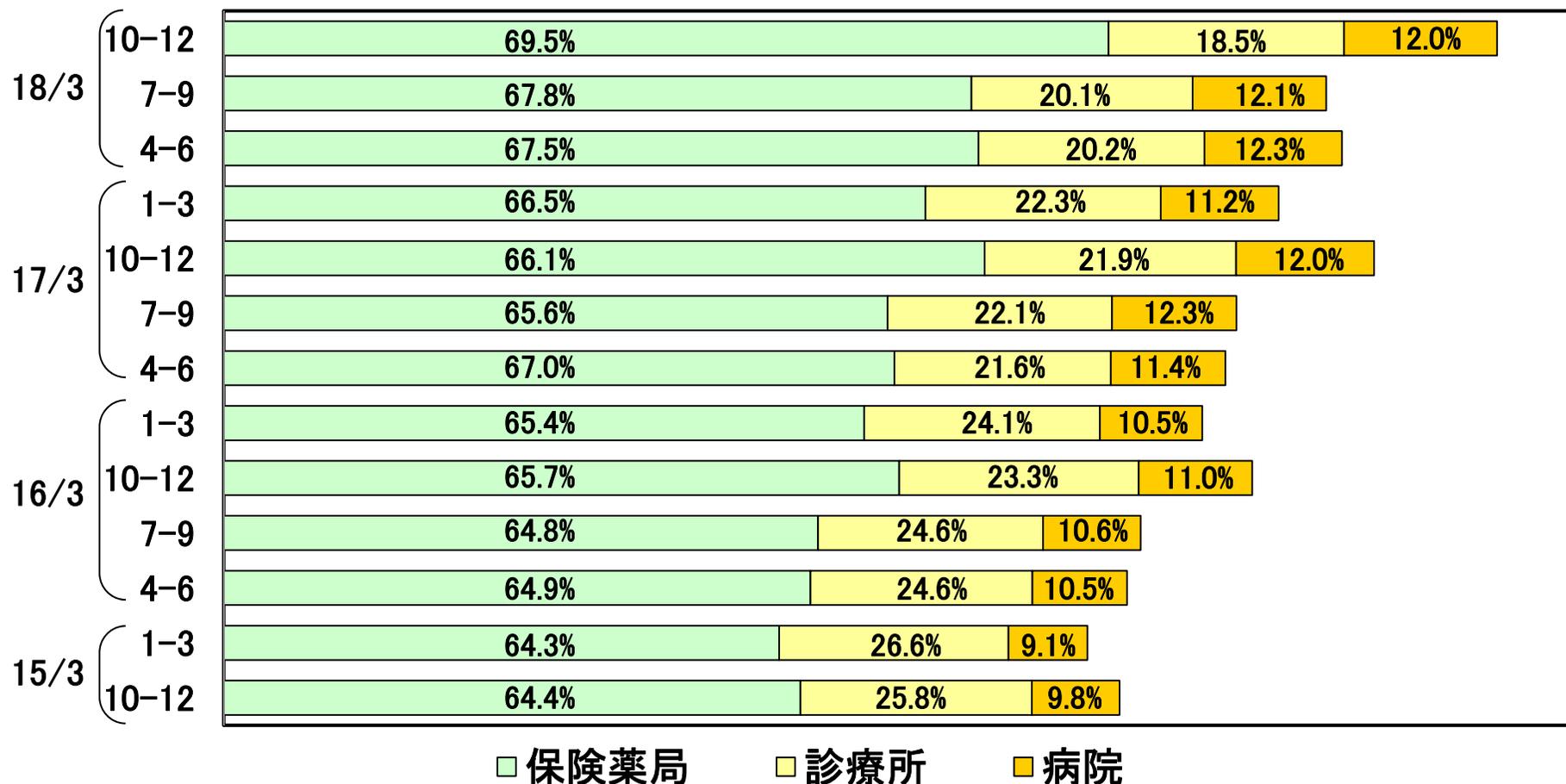
- 営業所の新設、本社取引の拡大などにより、代理店比率が低下
- 今期より医薬品卸との協業を開始し、順調に比率が上昇



□ 営業所・本社 □ 代理店 □ 医薬品卸 □ その他(他社販売・受託・輸出)
()は営業所数

納入先別売上高推移

● 保険薬局と病院の売上が順調に推移



(他社販売等を除く。診療所+保険薬局+病院を100%としている。)

販売費及び一般管理費

- 販管費は前年同期比1.5%減少
- 研究開発費が前年同期比で大幅に減少

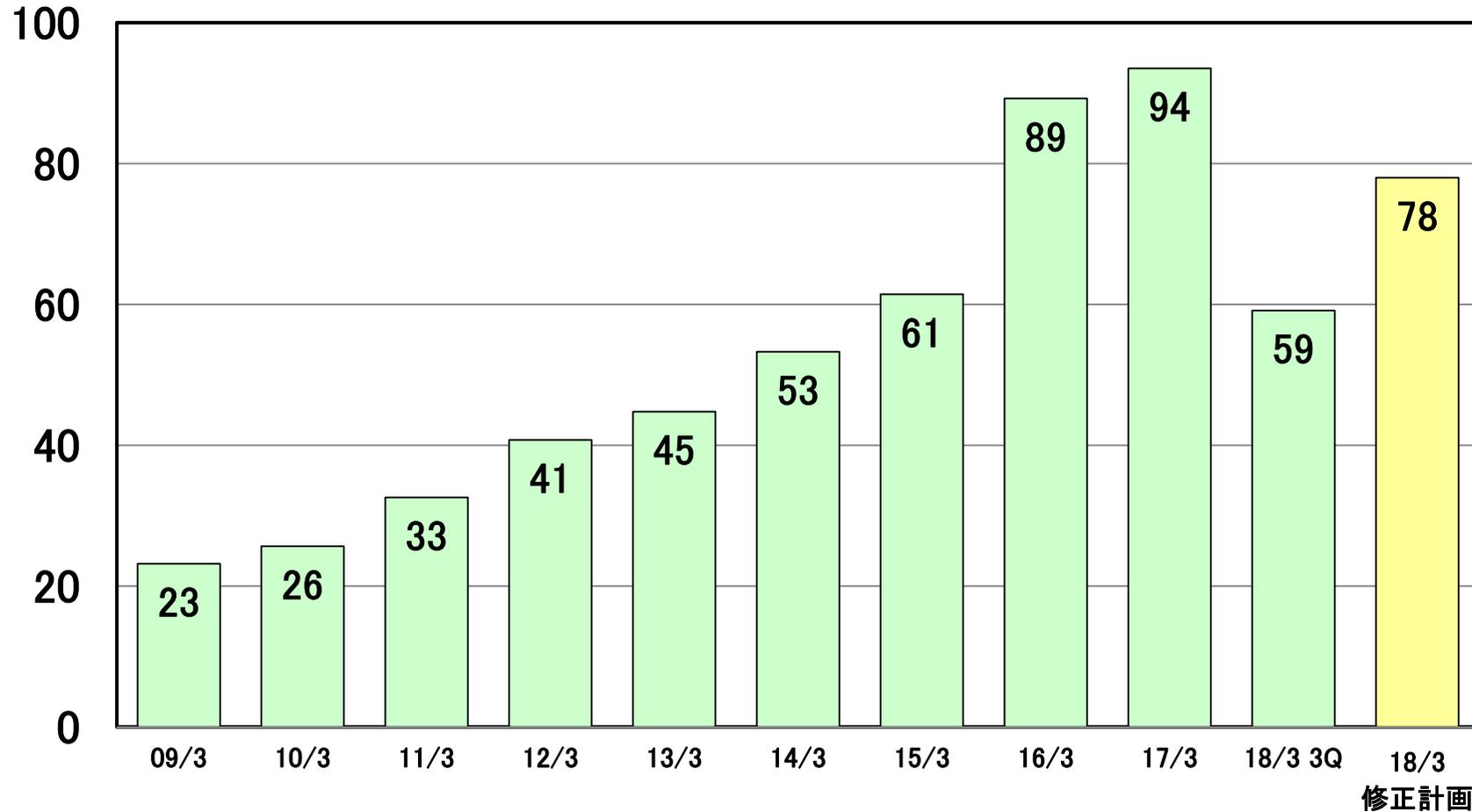
(単位:百万円, %)

期	18/3 3Q			17/3 3Q		
	金額	対売上高 比率	前年同期 比	金額	対売上高 比率	前年同期 比
人件費	9,990	14.2	+ 0.8	9,913	15.6	+ 9.4
研究開発費	5,914	8.4	- 13.9	6,869	10.8	+ 16.1
荷造費	1,490	2.1	+ 1.0	1,475	2.3	+ 29.2
減価償却費	876	1.2	+ 7.3	817	1.3	+ 17.5
広告宣伝費	674	1.0	- 3.6	698	1.1	- 38.0
その他	4,684	6.7	+ 11.3	4,208	6.6	+ 1.2
販管費	23,631	33.6	- 1.5	23,982	37.6	+ 8.5

研究開発費推移

- 開発品目の見直しや開発スケジュールの変更により、期初計画(97億円)から修正

億円



貸借対照表

- 商品及び製品の減少：在庫回転月数の短縮（5.0ヶ月 前期末比-0.7ヵ月）
- 建物及び構築物の増加：東日本物流センター建築工事が主な要因
- 長期借入金：山形工場増改築資金として9,000百万円の借入れを実施

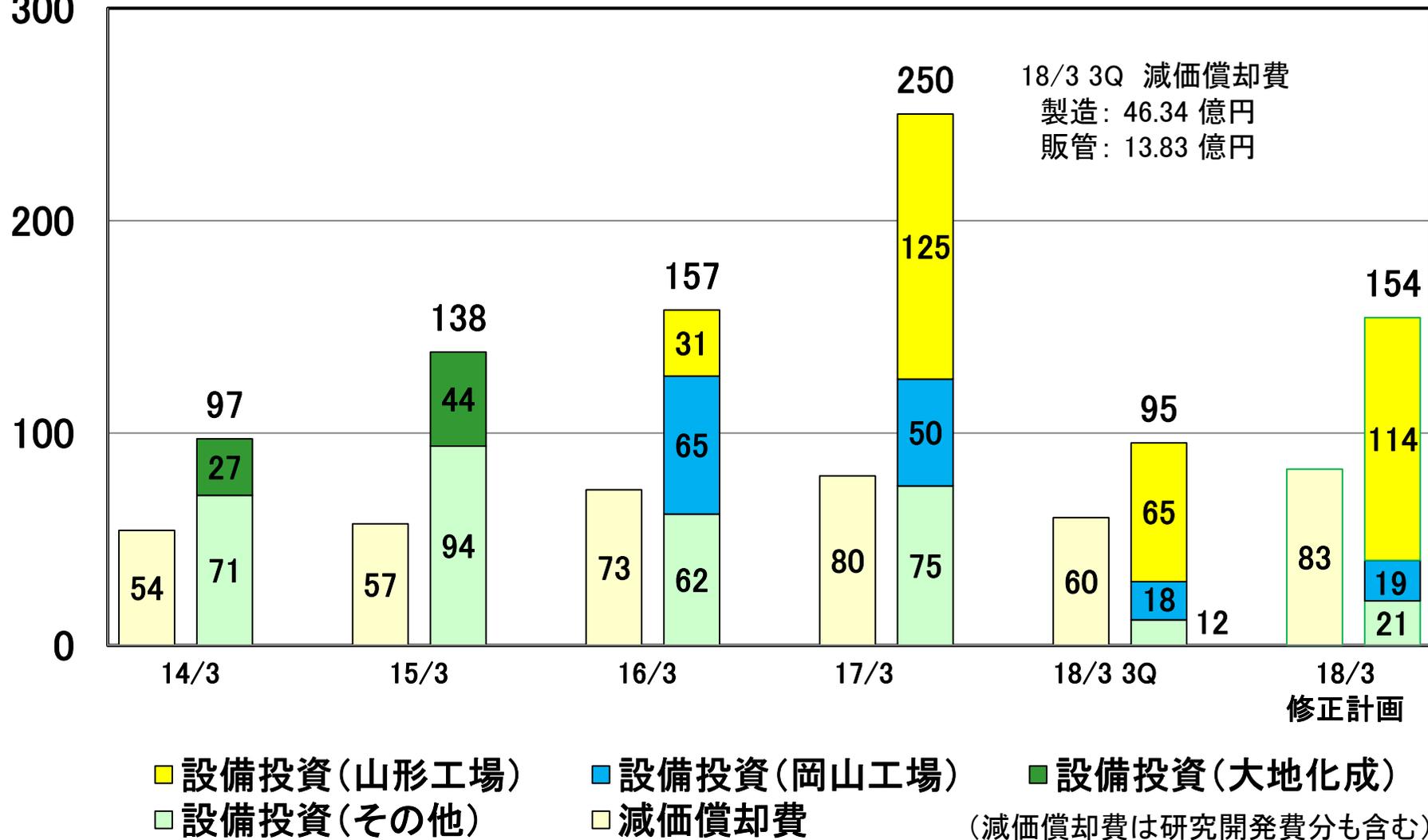
(単位:百万円)

項目	17/12	17/3	増減
現金及び預金	11,318	9,444	+ 1,874
受取手形 及び売掛金	24,889	19,627	+ 5,261
電子記録債権	6,331	6,597	- 265
有価証券	10,116	6,000	+ 4,116
商品及び製品	18,625	22,510	- 3,885
その他流動資産	23,741	22,371	+ 1,369
流動資産計	95,023	86,552	+ 8,471
建物及び構築物	33,877	29,830	+ 4,046
機械装置及び運搬具	14,109	15,148	- 1,039
建設仮勘定	18,813	18,279	+ 533
その他固定資産	15,433	15,436	- 2
固定資産計	82,233	78,695	+ 3,537
資産合計	177,256	165,247	+ 12,009

項目	17/12	17/3	増減
支払手形 及び買掛金	5,518	5,309	+ 209
電子記録債務	7,113	7,455	- 342
1年内返済予定の 長期借入金	3,816	2,681	+ 1,134
設備関係支払手形 及び未払金	7,234	10,365	- 3,131
その他流動負債	9,911	8,788	+ 1,123
流動負債計	33,595	34,601	- 1,006
長期借入金	46,202	39,253	+ 6,949
新株予約権付社債	15,048	15,056	- 8
その他固定負債	1,625	1,391	+ 234
固定負債計	62,876	55,701	+ 7,175
負債合計	96,471	90,302	+ 6,169
純資産合計	80,785	74,945	+ 5,840
負債・純資産合計	177,256	165,247	+ 12,009

設備投資・減価償却費

億円
300



2018年3月期 通期業績計画の修正

- 売上原価：今期の追補品の販売増加や当初見込みより改善した製造費用を反映
- 営業利益：研究開発費が減少したことによる販管費の減少により増益
- 経常利益：為替相場の先行きが不明なため、デリバティブ評価損益を除いた計画

(単位:百万円, %)

期	18/3 修正計画 (2月13日修正)				18/3 計画 (5月15日発表)		
	金額	対売上高 比率	前期比	期初計画 比	金額	対売上高 比率	前期比
売上高	94,000	100.0	+ 10.7	-	94,000	100.0	+ 10.7
売上原価	50,900	54.1	+ 10.9	- 0.8	51,300	54.6	+ 11.8
販管費	31,300	33.3	- 2.7	- 8.2	34,100	36.3	+ 6.0
営業利益	11,800	12.6	+ 71.8	+ 37.2	8,600	9.1	+ 25.2
経常利益	12,000	12.8	+ 61.8	+ 41.2	8,500	9.0	+ 14.6
親会社株主に帰属する 当期純利益	8,400	8.9	+ 50.6	+ 44.8	5,800	6.2	+ 4.0

2018年3月期 通期業績計画の修正(計画進捗率)

(単位:百万円, %)

期	18/3				
	3Q実績		通期計画 (2月13日修正)		
項目	金額	対売上高 比率	金額	対売上高 比率	進捗率
売上高	70,412	100.0	94,000	100.0	74.9
売上原価	37,570	53.4	50,900	54.1	73.8
販管費	23,631	33.6	31,300	33.3	75.5
営業利益	9,210	13.1	11,800	12.6	78.1
経常利益	10,472	14.9	12,000	12.8	87.3
親会社株主に帰属する 四半期純利益	7,373	10.5	8,400	8.9	87.8

将来予想に関連する記述については、目標や予測に基づいており、
確約や保証を与えるものではありません。予想と異なる結果になるこ
とがある点を認識された上で、ご利用下さい。

<お問い合わせ先>

東和薬品株式会社 広報・IR室

ir@towayakuhin.co.jp

TEL : 06-6900-9102

FAX : 06-6908-6060